

日 薬 業 発 第 7 3 号
平成 2 7 年 5 月 2 5 日

都 道 府 県 薬 剤 師 会 会 長 殿

公益社団法人日本薬剤師会
会 長 山 本 信 夫

平成 2 7 年度日本薬剤師会学校薬剤師部会 くすり教育研修会の開催について（協力依頼）

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会学校薬剤師部会では、学校薬剤師の学識向上や連携を深めることを目的として活動をしております。その一環として、本年度も学校薬剤師等を対象とする研修会において、くすり教育にテーマを絞り、保健体育教諭、保健主事、養護教諭等の学校現場で活躍する方々を招き、事例報告を行い会場とのディスカッションにより、学校教育におけるくすり教育の現状と課題を共有し、今後のより良いくすり教育のあり方等を検討することといたしました（別紙実施要領参照）。

本研修会は、新たな学習指導要領が公示されたことに伴う、平成 2 4 年度からの中学校での「くすり」授業の実施や平成 2 5 年度からの高等学校でのより高度な「くすり」教育の実施など、医薬品の適正使用に関する社会的要請の増大や、児童・生徒の保護者や学校関係者からの学校薬剤師への期待などを踏まえ、主に都道府県で活動する現場の保健体育教諭、保健主事、養護教諭、学校薬剤師等を対象とし、その活動の現状と課題に対する情報共有の支援、学校関係者との連携強化に向けた体制整備に寄与するために行うものであります。

つきましては、本研修会実施要領をお送りいたしますので、趣旨等にご理解を賜りますとともに、実施概要に基づき貴会会員並びに学校関係者にご周知賜りますようお願い申し上げます。

なお、研修会の参加申込につきましては、本会ホームページからのみ受け付けますことを申し添えます。

平成 27 年度 くすり教育研修会実施要領（案）

テーマ「学校におけるくすり教育の現状と課題」

（公社）日本薬剤師会主催、（公財）日本薬剤師研修センター共催

文部科学省後援（申請中）、厚生労働省後援（申請中）、

（公財）日本学校保健会後援（申請中）、くすりの適正使用協議会后援（申請中）

1. 目 的

（1）学習指導要領の周知・徹底に向けた支援体制整備

- 1) 学習指導要領に基づいた中学校・高等学校の保健体育科における医薬品に関する教育並びに特別活動等を活用した保健指導の実施と充実に向けて情報提供を行う。
- 2) 保健体育教諭、保健主事、養護教諭等の学校関係者と学校薬剤師等の医薬品の専門家が医薬品の教育に関する相互理解を深め、協調・協力し医薬品教育の実施と充実に向けた連携の在り方について協議を行う。

（2）学校保健を巡る最近の話題への対応等

- 1) 教育現場の現状と事例等から学び、学校薬剤師の学校保健活動への寄与の在り方について協議する。
- 2) 薬物乱用防止（危険ドラッグ含）、ドーピング防止、薬害等の現代的な課題に関する教育への対応について、専門家等から学び、学校保健活動の推進について協議する。

2. 対 象 保健体育教諭、保健主事、養護教諭、学校薬剤師 等

3. 研修予定

○基調講演（文部科学省担当官）

◎事例報告及びパネルディスカッション

①大学教授、②保健体育教諭、③学校薬剤師 他

4. 会場及び開催日時

〔東京会場〕：スクワール麹町 千代田区麹町6-6 TEL 03-3234-8739

8月28日（金）研修会：13：30～17：00

1. 基調講演
2. 事例報告
3. パネルディスカッション

5. 受講料

研修会参加費：日薬会員、研修センター賛助会員、
・・・・・・・・・3,000円（消費税込・テキスト代含）
非会員・・・・・・・・・4,000円（消費税込・テキスト代含）
保健体育教諭、保健主事、養護教諭（無料）

6. 問い合わせ先

〒160-8389 東京都新宿区四谷3-3-1 富士・国保連ビル7階 (公社) 日本薬剤師会 担当事務局 業務部学術業務課 学校薬剤師係 TEL 03-3353-1192 FAX 03-3353-6270 E-mail gyoumu@nichiyaku.or.jp

※受講申込みに係る個人情報、研修会の開催に必要な参加確認、連絡等に使用させていただきます。同研修会以外の目的に利用することはありません。

※日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度対象研修会（2単位）申請予定です。

7. 受講申し込み先（現在、準備中）

日本薬剤師会ホームページ：<http://www.nichiyaku.or.jp/kenshu/>
（6月中旬頃より、日薬HPより受講申し込み開始予定）